

## 知財戦略

### 日鉄がトヨタを特許侵害で提訴

－ 顧客を特許侵害で提訴！ －

(株)リガク

弁理士 石塚 利博

#### 日鉄がトヨタを提訴

日鉄が、EV等で使用されるモータ用の無方向性電磁鋼板に係る特許権で中国の宝山鋼鉄とトヨタにそれぞれ200億円の損害賠償請求、更にトヨタには宝山鋼鉄の電磁鋼板を搭載している自動車の製造販売の差止仮処分を東京地裁に2021年10月14日提訴した。尚、提訴に係る特許は公表されていないが多数の特許で提訴と予想される。

日鉄側は「合理的に判断した」。トヨタ側は「本来、納入業者間で解決すべき」「トップ同士で話がなかったのは残念」「宝山鋼鉄から特許侵害が無いことを確認した」等マスコミに色々公表された(注1)。

#### 提訴のインパクト

日本の名だたる大企業が名だたる大企業の顧客を訴えたのは、大変な驚きである。日本では、ご存じの通りお客様は神様であり、日本企業の顧客を日本企業が訴えるのは私が知る限り初めてである。日本には一千社以上加盟している日本知的財産協会があり、企業間の協調的繋がりが強く日本企業同士の知財の争いは話し合いで解決するのが一般的である。また、問題があると思うが、米国企業では、納入業者同士の係争、訴訟を発注時の契約で禁止(不爭条項)することを強制している会社もある。

更に、自動車メーカーは、納入業者に特許保障を要求し、納入業者同士での解決を強く求めるのが過去の例であった。今後他の納入業者も自動車メーカーに納入価格を含めて強く出ることが予想される。

#### サプライヤーと共存共栄

日鉄は不退転の決意でトヨタを訴えたと予想する。日鉄は、EVモータに使用される無方向性電磁鋼板の将来の事業拡大と利益を見込み100億円の投資をすると公表している。当然交渉決裂したとも予想する。もし、訴えない場合には、全てのEV用モータ会社が宝山鋼鉄から購入すると予想されるからである。

更に新日鉄が昔、立上げに協力した宝山鋼鉄(大地の子のモデル)は、方向性電磁鋼板の技術を韓国のポスコから不正に入手した。元々ポスコは、新日鉄から不正に入手していた。今回の無方向性電磁鋼板の技術も不正に入手した可能性もある(注2、3)。知財に係る者として、本特許訴訟は、大変合理的で画期的と思う。

また学生の時に先生に引率され名古屋の会社も訪問した。「当社では看板方式のような下請け虐

めはしない」と強く断言した会社もあった。近江商人の三方良し、YKKの吉田創業社長の「善の循環」を思い出す。サプライヤーとも合理的共存共栄が大切と思う。

—以上—

- (注1) 日鉄、トヨタとの関係悪化を気にせず容赦ない値上げ…訴訟招いたトヨタの自業自得 (biz-journal.jp)
- (注2) 日鉄 vs 宝山・トヨタ、異例の提訴に中韓への技術流出の影：日本経済新聞 (nikkei.com)
- (注3) 玉井克哉東大教授著孤軍奮闘の新日鉄 経済スパイ対策はまだ甘い 米中の激しい攻防戦 水面下で盗まれる日本 WEDGE Infinity(ウェッジ) (media.jp)